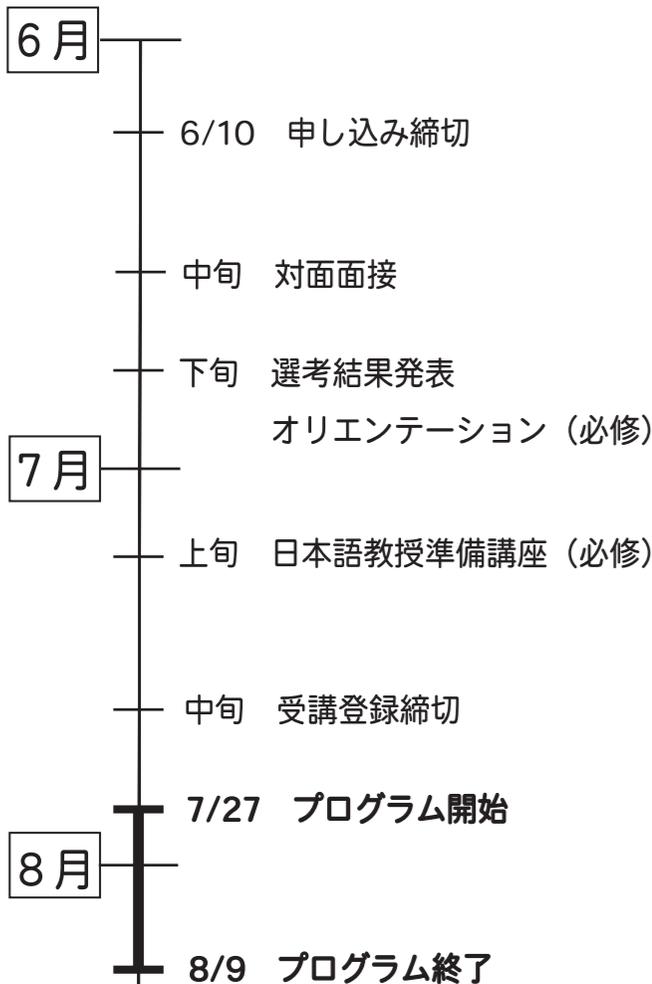


# Kyoto Summer Program

## レポート

7/29-8/9 にかけて開催された京都サマープログラム（以下 KSP）。今回は 2024 年度の参加者であった筆者がその紹介をしていきます。（執筆：J）



### ○ KSP とは？

京都大学協定校の海外学生と京大生の共学を軸とした京大主催のサマープログラムです。毎年夏休みの2週間を利用し、世界トップレベルの学生と京大生が共に京大の学風および先端研究に触れ、日本の文化、社会、科学、環境問題などを学び、理解する機会を得ることができます。全学共通科目として当プログラム「多文化教養演習：見・聞・知@京都」の履修登録を行い、修了が認められた場合は2単位が付与されます（一部公式サイトより引用）。

京大生は、英語を主な教授言語とする ILAS (Institute for Liberal Arts and Sciences: 京都大学国際高等教育院) と、日本語を主な教授言語とする KUASU (Kyoto University Asian Studies Unit: 京都大学アジア研究教育ユニット) のいずれかを選択することができ、この2つのサブプログラムに分かれて主に活動します。様々な国の、異なる専攻を持つ学生たちとアカデミックな交流を行えるだけでなく、授業外の自由時間でどのような交流を行うかは基本的に学生に委ねられており、私の場合は仲良くなった海外学生と一緒に昼ご飯を食べたり、放課後にスイカ割りや手持ち花火をしたりしました！ またフィールドトリップや文化体験など、学外で行うプログラムもあり、講義やディスカッションだけでなく、多様な活動を通じて海外学生と（もちろん京大生とも！）交流を深めることができます。B1 から M1 まで参加学年が多様な海外学生に対して、京大生の大半は B1 が占めており、その他は B2 という印象でした。プログラムは原則全て英語で行われますが、必要英語力は問われず、京大生なら誰でも参加申し込みができる点も魅力的です。

2024 年度の様子は京都大学公式サイトに掲載されています。→



(総・3 たけのこ)  
(継続って難しいよね:編)

ここでは ILAS 選択者であった筆者が参加した授業のうち4つをピックアップし、実際の体験も交えてお伝えしていきます。なお、時間割は必修科目と必要時間数を満たしていれば原則自由に組み合わせることができ、筆者の場合は、全休の日から1日6時間受ける日まで、日によって様々でした。

### □ 日本語教授実習 □

日本語を学ぶ海外学生に対し、京大生が担当講師のもとで日本語教授実習を行います。海外学生の日本語習得レベルに応じて、簡単な挨拶を教えるものから、実際に日本文学を読んでもらうまで、その内容は多岐にわたります。普段何も考えずに使っている日本語を、海外学生の視点から考え直すのはなかなか難しかったですが、日ごとに自分の教授で日本語を上達させていく彼らの姿には、感慨深いものがありました。



最終日間近の放課後に行ったスイカ割りの様子。

### □ 講義 □

学際的なトピックに基づき、文理を問わず様々な専門分野について、京大の先生方が行う講義を聴くことができます。今年度は、「環境・動物福祉を考慮した持続的食料生産」、「日本の捕鯨：食と保護を巡る文化政治学」など幅広い分野が扱われ、普段は聴講することがない学問分野から、まだ見ぬ日本についての理解を深められたのが印象的でした。授業後の質疑応答では鋭い質問を投げかける学生も多くおり、感銘を受けました。

### □ ディスカッション □

ILAS 生のみ参加。世界規模で問題になっている様々な問題について、海外学生と英語で議論を行います。議題は「グローバル化と人の移動」、「食糧問題」など多岐にわたり、自分の専門外の分野についても意見を求められる点が大変でした。また、日本の既存の制度について、海外学生から個人的な意見を直接求められることもあり、緊張する場面もありました。しかし、普段では知りえない他国の状況について詳しく知り、改めて日本社会を捉えなおす機会には有意義なものになりました。



参加者全員がもらえる修了証。

### □ フィールドトリップ □

地元企業や各種組織の協力を得、大学の外に出て様々な活動を行います。今年は滋賀県の琵琶湖博物館と近江八幡市にある新町通りを中心に訪れ、琵琶湖や、日本三大商人の一つである近江商人について理解を深めました。博物館では学生同士で協力して解くクイズが用意されたほか、両場所ともに一部自由行動がとられ、遠足気分での学習・交流を行うことができ、楽しい思い出になりました。

KSP の魅力は存分に感じていただけたでしょうか？ 国際交流系プログラムと銘打っていても、「留学に興味はあるけど急に海外は不安……」という人から、「留学などには興味がないけれど、ただ夏の思い出を作りたい！」という人まで、幅広くお勧めしたいと思っています。実際私もノリ半分で参加したプログラムでしたが、国内国外問わずかけがえのない友人たちと出会うことができ、一生モノの夏の思い出となりました。この記事を読んで興味をひかれた方は是非、来年度参加してみたいかがでしょうか？

はみだし  
すてーじ

毎月のように読者カード出していますが、生協ポイント当たらずに悲しいです……  
⇒根気強く出し続ければいつか当たるはず……！

(農・院 mm)  
(今月もお待ちしております;編)

はみだし  
すてーじ

二日坊主です。  
⇒三日坊主は回避しよう。